

**平成27年度 指定管理者年度総合評価表**  
(平成27年4月～平成28年3月実施分)

作成日	平成28年 6月 8日
-----	-------------

■指定管理者概要

施設名	八戸市水産科学館		
所在地	八戸市大字鮫町字下松苗場 14 番地 33		
施設概要	設置目的：八戸市の水産に関する資料等及び海の生態に関する資料等を展示すること、並びに その他水産に関する知識の普及及び向上を図る。		
	構造：鉄筋コンクリート一部鉄骨造 5 階建		
指定管理者	名称	企業組合かぶあがり	
	代表者	代表理事 吉井仁美	
	所在地	八戸市大字是川字二ツ家 6-38	
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日		
指定管理者の業務	八戸市の水産、海の生態に関する資料等の企画、展示に関すること。 施設の使用許可に関すること。 施設設備等の維持管理に関すること。		
市所管課 (問合せ先)	まちづくり文化スポーツ観光部 観光課 観光物産グループ		
	電話	0178-43-9252 (直通)	
	E-mail	kanko@city.hachinohe.aomori.jp	

■指定管理者による自己評価

評価	<p>・マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ活動について 平成27年度は「たんけんクラブ・シニア」の活動開始年度ということで、JAMSTEC（海洋研究開発機構）横須賀本部と横浜研究所を訪問し、第一線の現場で活躍している研究者・実務者と直接的な交流を行った。その他、八戸消防署協力による地震・防災の体験学習、南浜漁業協同組合協力による地曳網体験学習、東北区水産研究所協力による巨大イカの解剖学習、南部町名川B&amp;G海洋センター協力による水難講習、八戸圏域水道企業団協力による海と川の循環学習、新井田川漁業協同組合と八食センター協力によるサケの体験学習等、関係機関と連携をした、たんけんクラブならではの活動を行った。</p> <p>・安定的な入館者数を確保するための企画力アップと、安心・安全な施設運営。そしてそれらを達成していくための継続的な人材育成について 〈展示関係〉 夏休みに合わせて業務提携をしている東北区水産研究所の研究成果を紹介するコーナーを新設。多くの子供たちが夏休み自由研究の題材として利用した。夏休み終了後は当コーナーを常設化することで3階展示の大きな充実・強化に繋がっており、資料の補充が追い付かない程の高い利用率となっている。また、八戸市出身の画家 久保田政子氏を講師に迎え、震災後、「もぐらんぴあ」からお預かりしていたアオウミガメ“カメ吉”をテーマとした「絵画教室」と「絵画展」を開催。その他、人気企画となっている「夜のマリエント」を夏休みだけでなく、秋季、冬季、春季にも開催し、お客様の満足度向上を図った。</p>
----	--

	<p><b>〈情報発信の強化〉</b>                  多くの観光客が足を運ぶ八食センター内に、当館を紹介する水槽及び情報コーナーを設置。当館の情報を入手できるサテライトスペースとして、情報発信力の強化に繋がった。10月には八食センターで開催された「八食わくわくフェスタ 2015」に出展し、カニ釣り体験、タッチプール、ドクターフィッシュ等の実施を通して、当館の積極的な宣伝・PRを行った。また、八戸工業大学第二高等学校美術コースと連携し、企画展ポスターや当館オリジナルロゴを共同作成。地元高校との連携による広報の充実・強化に努めた。</p> <p><b>〈施設・設備の老朽化対策と利便性の向上〉</b>                  施設・設備の老朽化に伴い、安全の確保と利便性の向上のために、大型水槽（3基）の更新を行い、水槽展示内容の充実を図った他、随時、八戸市観光課と相談・調整を行い施設の改修、設備のリニューアル等を実施した。</p> <p><b>〈協働のまちづくりに関わる取り組み〉</b>                  地域行事への人員派遣や景品の提供、八戸花火大会時における見学場所とトイレの提供及び飲食物の販売、職場体験やインターンシップの積極的な受入れを行った。また、地震・津波の恐ろしさを風化させないための「地震・津波写真展」の開催や、地域の幼稚園・保育園・消防署・八戸海上保安部と共同による避難訓練を実施した。その他、外部における「科学の祭典」や「出張水族館」への参加協力を積極的に行った。</p> <p><b>〈施設の利用状況〉</b>                  以上の取り組みなどにより、平成27年度における施設の利用状況は、指定管理者制度導入後、最多となる入館者数73,510名となり、前年対比の102%を達成することができた。</p>
<p>今後の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○青森県農林水産部との連携による、県内の“つくり育てる漁業”や“絶滅危惧種”を紹介する展示の開催。</li> <li>○地域の高等学校との連携による、高校生徒の活動や取り組みを紹介する展示の開催。</li> <li>○海に面した地域の公共施設として、「地震・津波」の恐ろしさを風化させないための継続的な啓蒙展示の開催、及び地域と連携した避難訓練の継続的な実施。</li> <li>○上記の他、各関係機関との連携を更に強め、適切な情報を多くの来館者に発信し、水産科学館としての役割を果たすための展示の開催と取り組みの展開。</li> <li>○「安定的な入館者数を確保するための企画力とサービスの向上」、「安心・安全な施設運営」、「水産科学館としての適切な情報発信」に必要な各資格の取得。（食品衛生責任者、ビジネス実務マナー、防火管理者、学芸員等）</li> </ul>

■市（所管課）の総合評価

<p>評価</p>	<p>水産科学館では、平成27年度もこれまでの指定管理期間で培われたノウハウを生かした様々な展示・企画が行われた。</p> <p>3階展示室では、リニューアルした水槽を活用した新規生体の展示、北海道立オホーツク流水科学センターGIZAの協力による「クリオネ」の通年展示、海水魚と淡水魚が同じ水槽内で飼育できる好適環境水による展示、さらに「餌やり体験」、「深海水圧実験」、「デンキウナギの発電実験」、「イカ釣り・カニ釣り体験」など、水生生物を用いた体験企画が実施された。</p> <p>また、生体に直に触れることができ、子どもに人気のタッチ水槽では、地元漁業者の協力により、生体の種類・個体数が充実したほか、白いナマコや白いウニ、深海生物等も提供され話題性とともに入館者の増加が図られた。</p> <p>4階の展示スペースでは、アオウミガメの『カメ吉』をテーマとした絵画展や、青森県南に生息する野鳥の絵画展、東日本大震災を経て、地震・津波の恐ろしさを風化させないための「地震・津波写真展」が開催された。</p> <p>館の情報発信においては、マリエント通信による継続的な広報のほか、八食センター・八戸工業大学第二高等学校との連携、イベントへ出展による宣伝・PR、ホームページの活用などによって情報発信が行われた。</p> <p>以上の積極的な企画展示や体験企画、広報の実施により、館の魅力向上や利用者の満足度の向上が図られたことにより、年間入館者数が前年度比1,663人増となり、2年連続で70,000人以上を達成した。</p>
-----------	---

指摘事項	食堂施設入居事業者との間の見解の相違について、解決を図ろうとしているところであるが、施設の運営に直接的な影響が出ないように留意すること。
------	--

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	業務基準書に示された内容と比べ、開館時間延長や休館日を臨時休館日だけにするなど、市民サービスの向上に努めていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況 ※募集時に提案していた場合(選定時加点)	○	提案内容とは異なるが、職場体験という形で受け入れを行った。雇用については、仕事の内容や仕事上の条件について、養護学校等と話し合いをしながら検討を行った。
協働のまちづくりへの協力 ※募集時に提案していた場合(選定時加点)	○	提案内容と概ね同水準の地域貢献活動が行われていた。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応(準備)が十分できていた。緊急時の役割分担(マニュアル)が作成されていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い ※承認料金制の場合	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免	○	減免手続きが適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
指定管理開始前における準備	—	平成21年度から平成25年度、平成26年度から平成30年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、対応なし。

管理終了後における引継ぎ	—	平成 21 年度から平成 25 年度、平成 26 年度から平成 30 年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。 (使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。)
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

## 2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況	◎	利用者数が当初の目標を達成するとともに、前年実績を上回った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 26 年度 目標入館者数 63,000 人 実績入館者数 71,847 人</li> <li>・平成 27 年度 目標入館者数 66,000 人 実績入館者数 73,510 人 (対前年度比 102.3%、達成率 111.4%)</li> </ul>
自主事業	○	自主事業を実施し、入館者増等に効果があった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・マリエント市の実施</li> <li>・八戸花火大会の際の開館時間延長</li> <li>・夜のマリエントの実施(水の生き物 特別体験事業)</li> <li>・売店事業及び自動販売機事業</li> <li>・元旦の来館者へのくじら汁のお振舞い</li> <li>・久保田政子氏による「絵画教室」と「絵画展」の開催</li> <li>・親子で作る「レゴロボット教室」の開催</li> </ul>
その他の取組 (運営に関する工夫)	○	<p>附帯業務である「ちきゅう」たんけんクラブの活動</p> <p>平成 19 年度に会員 10 名でスタートしたマリエント「ちきゅう」たんけんクラブは、平成 27 年度には、これまでの中学生以下を対象とした「ちきゅう」たんけんクラブに加えて、高校生以上の学生を対象とした「ちきゅう」たんけんクラブ・シニアが活動を開始し、会員数はそれぞれジュニアが 97 名、シニアが 65 名、計 162 名であった。</p> <p>平成 27 年度は、JAMSTEC(海洋研究開発機構)横須賀本部と横浜研究所を訪問し、第一線の現場で活躍している研究者・実務者と直接的な交流を行った。その他、八戸消防署協力による地震・防災の体験学習、南浜漁業協同組合協力による地曳網体験学習、東北区水産研究所協力による巨大イカの解剖学習、南部町名川 B &amp; G 海洋センター協力による水難講習、八戸圏域水道企業団協力による海と川の循環学習、新井田川漁業協同組合と八食センター協力によるサケの体験学習等、関係機関と連携をした、たんけんクラブならではの活動を行った。</p>

## 3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																								
指定管理業務の収支状況	○	収支計画を達成し、黒字であった。 (単位：円)																																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>収支計画</th> <th>収支実績</th> <th>前年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利 用 料 金</td> <td>15,924,000</td> <td>13,490,200</td> <td>13,254,030</td> </tr> <tr> <td>指 定 管 理 料</td> <td>45,278,000</td> <td>44,239,000</td> <td>44,254,000</td> </tr> <tr> <td>ちきゅうたんけん クラブの会費及び 活動に係る実費</td> <td>135,000</td> <td>463,100</td> <td>342,820</td> </tr> <tr> <td>雑 収 入</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>修繕料繰越金</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>61,337,000</td> <td>58,192,300</td> <td>57,850,850</td> </tr> <tr> <td>人 件 費</td> <td>33,544,000</td> <td>25,803,839</td> <td>26,630,209</td> </tr> <tr> <td>維持管理経費</td> <td>20,570,000</td> <td>21,577,335</td> <td>21,645,305</td> </tr> <tr> <td>事業費・一般事務費</td> <td>4,143,000</td> <td>5,137,425</td> <td>4,902,590</td> </tr> <tr> <td>租 税</td> <td>3,080,000</td> <td>2,543,332</td> <td>2,289,731</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>61,337,000</td> <td>55,061,931</td> <td>55,467,835</td> </tr> <tr> <td>次年度修繕料繰越金③</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>収入—支出 (②—③)</td> <td>0</td> <td>3,130,369</td> <td>2,383,015</td> </tr> </tbody> </table>	項目	収支計画	収支実績	前年度実績	利 用 料 金	15,924,000	13,490,200	13,254,030	指 定 管 理 料	45,278,000	44,239,000	44,254,000	ちきゅうたんけん クラブの会費及び 活動に係る実費	135,000	463,100	342,820	雑 収 入	—	—	0	修繕料繰越金	—	—	0	計	61,337,000	58,192,300	57,850,850	人 件 費	33,544,000	25,803,839	26,630,209	維持管理経費	20,570,000	21,577,335	21,645,305	事業費・一般事務費	4,143,000	5,137,425	4,902,590	租 税	3,080,000	2,543,332	2,289,731	計	61,337,000	55,061,931	55,467,835	次年度修繕料繰越金③	—	—	0	収入—支出 (②—③)	0	3,130,369	2,383,015
		項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																					
		利 用 料 金	15,924,000	13,490,200	13,254,030																																																					
		指 定 管 理 料	45,278,000	44,239,000	44,254,000																																																					
		ちきゅうたんけん クラブの会費及び 活動に係る実費	135,000	463,100	342,820																																																					
		雑 収 入	—	—	0																																																					
		修繕料繰越金	—	—	0																																																					
		計	61,337,000	58,192,300	57,850,850																																																					
		人 件 費	33,544,000	25,803,839	26,630,209																																																					
		維持管理経費	20,570,000	21,577,335	21,645,305																																																					
		事業費・一般事務費	4,143,000	5,137,425	4,902,590																																																					
		租 税	3,080,000	2,543,332	2,289,731																																																					
計	61,337,000	55,061,931	55,467,835																																																							
次年度修繕料繰越金③	—	—	0																																																							
収入—支出 (②—③)	0	3,130,369	2,383,015																																																							
自主事業の収支状況	○	収支計画を概ね達成し、黒字であった。 収入 5,329,626 円 支出 2,854,836 円 収支 2,474,790 円																																																								

## 4 運営に係る体制整備状況等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者アンケート調査及びその結果を活かす仕組みができていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等をホームページやマリエント通信等で積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。 アンケート回収数 435 枚
苦情・要望等への対応	○	苦情・要望等に対し、適切に対応していた。 26 年度実績 21 件 (苦情 8 件、要望 13 件) 27 年度実績 26 件 (苦情 9 件、要望 17 件)
個人情報の保護	○	個人情報等保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績無し)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績無し)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応していた。
環境への配慮	○	環境に配慮した、物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクル推進等が適切に行われていた。

## ■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング				
自主点検状況	実施状況			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様のご教示や、館内にアンケート箱を設置し利用者の意見を参考に、早急な対応と改善を随時行った。</li> <li>・有識者や地元漁業者等を訪問し、意見やアドバイスを受け管理・運営に反映した。</li> <li>・施設、設備については定期点検を行い、必要な修繕については随時実施した。</li> </ul>			
2 定期モニタリング				
定期報告状況	実施状況			
	月例報告書が遅滞なく提出され、内容も適切であった。			
3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	22回	4月15日	担当	施設運営等に関する打ち合わせ
		5月20日	GL、担当	施設運営等に関する打ち合わせ
		5月22日	GL、担当	施設運営等に関する打ち合わせ
		6月16日	担当	施設運営等に関する打ち合わせ
		6月22日	担当	施設運営等に関する打ち合わせ
		6月25日	GL、担当	施設運営等に関する打ち合わせ
		7月29日	担当	修繕に関する打ち合わせ
		8月24日	GL、担当	修繕に関する打ち合わせ
		9月15日	GL、担当	施設運営等に関する打ち合わせ
		9月30日	担当	修繕の調査立会い
		10月13日	担当	修繕に関する打ち合わせ
		10月16日	GL、担当	施設運営等に関する打ち合わせ
		10月23日	GL、担当	新年度予算要求に関する打ち合わせ
		10月27日	GL、担当	新年度予算要求に関する打ち合わせ
		11月6日	担当	修繕に関する打ち合わせ
		11月25日	担当	水槽設置作業に関する立会い
		12月18日	GL、担当	修繕完成検査及び打ち合わせ
		1月20日	担当	施設運営等に関する打ち合わせ
		3月9日	担当	修繕に関する打ち合わせ
		3月10日	担当	修繕に関する打ち合わせ
	3月21日	GL、担当	アオウミガメ「カメ吉」帰還セレモニー立会い 施設運営等に関する打ち合わせ	
3月29日	担当	施設運営等に関する打ち合わせ		
実施結果				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設運営等に関する打ち合わせ、修繕等に関する打ち合わせ等を行った。</li> <li>・新年度予算要求に関する打ち合わせを行った。</li> </ul>				

※GL：グループリーダー